九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

大野城市史 ： 第三編『中世』

服部, 英雄
九州大学大学院比較社会文化研究院 ： 教授 ： 日本史

https://hdl.handle.net/2324/17749

出版情報：大野城市史. 上巻, pp.501-598, 2005-07-31. 大野城市史教育委員会
バージョン：
権利関係：

第三編　中　世

第一章　歴史はくり返す
—時代を通じて変わらなかった四王寺山の役割・逃げ込みの城と狼煙山—……501
大陸との玄関口大宰府・博多　四王寺山の狼煙台　古代・中世ののろし

第二章　蒙古襲来と大野城市域……510
第一節　ムクリコクリの記憶……510
鬼がくる
第二節　文永の役と太宰府……512
文永の役と冬の嵐　『八幡大菩薩愚童訓』の記述　『勘仲記』の異なる記述
風はいつ吹いたか　もう一つあった大きな合戦

第三章　中世の農民生活をさぐる—早魃と出挙……521
飢饉と雨乞い　水瓶山の経筒

第四章　中世史料に登場する大野城市域……528

一　天満宮領の村むら―大利村・河原田（瓦田）村・白木原村……528
安楽寺領の書き上げ　大利村の安楽寺領　河原田（瓦田）村の安楽寺領
秀吉へ安堵を申請した所領　小早川隆景による安堵　白木原村の光明蔵禅寺領
二　崇福寺領の村むら―大利村と山田村……536
大利村の崇福寺領　山田村にも泉松寺領
三　国分寺領田のあるむらや給人領のむら……538
瓦田には「国分田」も　乙金に給人所領
四　平野社……541
牛頸が平野庄か
五　宗祇がみた三笠（御）の森……542
博多への旅の記録　宰府から博多へ所々の名

第五章　唐山城と牛頸城……544

第一節　唐山城……544
唐山の南日守峠　田中道　盗原　要路の押さえ唐山城
地誌にみる遺構・城主　大友方拠点としての唐山城　毛利・大友和睦以後
大友敗北と唐山城取誘

第二節　牛頸不動城……556
一　不動城の地理的位置……556
水城と幹線防衛　太宰府包囲の一例から見る　岩戸・佐野山を結ぶ道

二大幹線の要牛頸不動城
二　不動城の遺構と縄張（平面プランと立地の意味）……559
第三節　不動城の歴史と変遷—奈良原氏と幡崎氏……561
一　不動城……561
遺構の現状　城に関係する地名
二　不動城およびその城主・奈良原氏に関する文献上の資料……568
関係資料は三点　歴史の大局を伝える『筑紫家文書』
三　資料に見る不動城とその城主・奈良原兵庫助高政……570
奈良原氏とは　『筑前国続風土記』の記述　「墓碑銘」の記述
四　「墓碑銘」の疑点……573
不動城は秋月氏の配下か　幡崎氏とは
五　奈良原氏のその後……582
奈良原兵庫助は切腹したのか　末裔は明治の快人
第六章　地名から見た中世社会……584
一　条里制耕地と坪名……584
二　村人たちと水田地名……585
早田（早稲田）　苗代田　とうぼし田・大唐田　イリウ　ブッショウ
節句田　見取町　石勺ほか
三　牛頸の地名……591

平野川流域　牛頸川流域　東浦からイガイムタ池筋
平野川と合流後の牛頸川流域　山の地名（俵石・山の神・古屋敷・シラミ狩倉）
四　牛頸という地名の語源……597

第四編　近　世

第一章　近世社会の成立

第一節　豊臣政権と小早川氏……601
一　豊臣秀吉の九州平定……601
豊臣秀吉の九州平定　九州の国割　博多の復興
二　小早川氏の領国経営……604
小早川隆景の筑前入国　朝鮮出兵　太閤検地　筑前の太閤蔵入地化
小早川秀秋の再入国
第二節　福岡藩の成立……611
一　黒田氏の筑前入国……611
黒田長政の筑前入国　城下町福岡の建設　六端城の建設
二　検地と福岡藩の家臣団……616
慶長七年検地　大野城市域各村の村高　家臣団の構成　慶長期の農政